

新潟県立長岡工業高等学校同窓会東京支部会報

東京支部だより

第 10 号

〒178-0061

東京都練馬区大泉学園町 8-18-32

発行人：東京支部長 樋口 昭

編 集：会報編集委員会

ご挨拶

同窓会東京支部 支部長 樋口 昭 (29E)

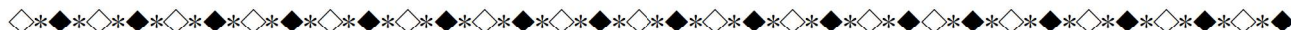


東日本大震災の復興も進まず、電力事情が不透明に加えて、18年豪雪を思う雪害で厳しい状況で有ますが、新茶の香りに初夏を感じる候と成りました。会員各位におかれましてはご壮健のこととご推察申し上げます。平素、同窓会東京支部にご理解、ご協力を頂き感謝申し上げます。本年も同窓の諸兄が一堂に会し、久しく会話をし、楽しい第34回総会を7月7日に昨年と同様、上野「オーラム」にて行います。

本年は伝統と誇り有る母校の110周年の意義深い年であり、東京支部の盛会が母校110周年記念行事の一助と成るので有ります。会員各位、お誘い合わせの上、多数のご参集をお待ち申し上げます。同窓会は役員等の特定の者のものでは有りません。会員の共有のもので有り、役員諸氏は同窓会の共通の価値観の創造に組織的に鋭意務めて居ります。本年も又郷土芸能など楽しい催しものが計画され郷土色豊かな総会と成ります。

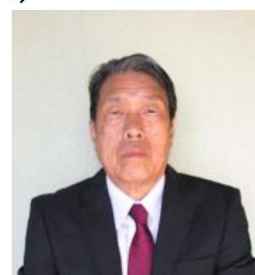
私事ではありますが昨年の総会で支部長のご承認頂き 就任致しました。浅学非才の私ではありますが、役員並びに会員各位のご指導 ご支援頂き その任を務めて参ります。運営方針は 並木前支部長の方針を踏襲し、改革、会員共通の価値観を醸成し、東京支部の活性化に務めて参ります。各位の格段のご支援 ご協力をお願い申し上げます。

会員各位の益々のご健勝 ご活躍並びに母校110周年記念行事の盛会をご祈念申し上げます。



ご挨拶

同窓会東京支部 副支部長 星野 弘明 (30C)



長工同窓会東京支部の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

東京支部の活動も平成12年に各課、合同合併を実施後早くも10年を過ぎました。会員諸氏も同好会等それぞれ大変立派な活動をされていて誠に頼もしいかぎりであり、登山同好会は年6回の登山(南アルプス等)を実施。ジョギング同好会は春の三浦マラソン、秋は横浜マラソンに参加、今春の三浦マラソン後の懇親会13名の参加者で盛り上がりました。散歩クラブは昨秋赤穂浪士をしのび、その足跡を散歩しました。大手門の松の廊下、浅草の吉良の屋敷跡、泉岳寺のお墓参りを実施しました。パソコンクラブはホームページでデータの整理など大変な仕事をされています。

私の長岡工業入学当時(昭和28年)に復刊した長陵復刊1号、通算25号の巻頭言に当時の学校長盛田英治先生は記録として残されたものは、そのときの言葉で、そのときの思想で物語を伝えてくれるとありました。今我々同窓諸氏はそれを感じている時間であると思います。

今回、私は東京支部副支部長を勤めることになりました。誠に非力ではありますが樋口支部長を補佐して同窓諸氏の手助けが出来ます様、努力してまいります。今後も会員諸氏のご指導ご支援の程よろしく願いいたします。また皆様の活躍を期待するとともに皆様のご健勝をご祈念申し上げます。



東京支部役員登場**生涯青春**

支部理事 大淵 平祐 (34M)

はるかなるふるさと田麦山に生まれ育ち、飯山線、上越線と乗り継いで長工に学んだ3年間、貴重な教えを頂いた諸先生、長工魂を吹き込まれた先輩、後輩、そして素晴らしい仲間ができて幾多の思い出と共に我が人生の原点、長岡工業高等学校の生徒だったことに感謝しています。

同窓会は卒業以来53年皆勤し、昨年の総会では古希の祝いをして頂きました。

34Mの同級会は、毎年正月の第二土曜日に開催しており、フルタイム勤務からの卒業もあって、同窓会とは裏腹に年々参加者が増え、今年は31名参加した。会うと瞬時にして往時に戻り、酒を酌み交わしながら若き日々を語り、喜び合えるかけがいのない友達です。

今も現役、健康で機械設計に勉強できる事が有り難い。休日は地域のサークル活動で、こども将棋教室を開催し、幼、小、中学生対称に日本の伝統文化である将棋を教えている。一生懸命頑張っている子供たちに触れることが私の癒しの一つでもある。

日々の生活を楽しみ、信念と自信と希望を持ち、何時までも青春でありたい。

**映画「聯合艦隊司令長官・山本五十六」を見て**

支部理事 長橋久美夫 (33W)

昨年の暮れ、長岡出身で日米開戦に反対し男の真実を描いた映画「聯合艦隊司令長官・山本五十六」が大公開された。以前から歴史に興味があったので、早速シネマに足を運んだ。丁度、真珠湾攻撃70周年の記念すべき年でもあり、山本五十六の対米戦争を回避しようとしながら自から太平洋戦争に火ぶたを切り、指揮した苦悩の内容に、見る人々の心を奪った。また、当時の生活の一部や長岡弁、長岡甚句を聞くに強く郷愁を覚えた。

長岡には、この他にも河井継之助、小林虎三郎、三島億二郎など多くの偉人達を輩出しており、歴史と文化のある故郷である。

昭和33年に紡織科(現テキスタイルデザイン科)を卒業し、埼玉に移ってから前半世紀以上も経過しましたが、母校が今年110周年を迎え出会うことは誠に幸運であります。近年は専門高校の廃止や統合化などが聞かれる中で、県下最初に設立された工業高校として今日の隆盛に至りましたことは歴代の教職員、生徒、父兄、同窓会の努力と地域の方々の温かいご理解の賜物と、卒業生の一人として誇りを感じるものであります。

平成22年に東京支部同窓会より70歳功労者表彰を受けましたが、さらに、自己啓発に励み元気に活動できるように生きていきたいと思っています。

今後も母校の発展と長工同窓各位に感謝とご健勝を願いたいと存じます。

**会社定年後の近況報**

支部幹事 柳沼正榮 (31M)

会社定年後2年間嘱託で勤務をした後、関係会社に週3~4日のアルバイトで10年間勤め、昨年3月に73才で仕事から解放されました。アルバイトは仕事に余裕がありましたので市原市のシルバーカレッジに入学し、交際の輪が広がりました。ゴルフやハイキング等、今も続いています。家庭では2人の娘が嫁ぎ、家内の母親(96才)、家内と私の老人家族3人で仲良く暮らしています。24年前に建てた家の前に約80坪の荒地があり、雑草が繁茂しておりましたので地主と交渉し、雑草を刈取りきれいにする条件で、無料で借りています。家庭菜園の土壌は堆肥の投入、雑草の始末、病害虫の駆除、化学肥料の使用を最小限に控え、農薬を使用しない等々の工夫と改良を行い、有機野菜を食卓に並べられる様に知恵を絞っています。(いつまで体力が続くかなあ~)



会員だより(平成 23 年度 70 歳表彰者)



今年は、下記7名の方が70歳功労者表彰を受けられ、代表して星野卓史様、木村誠宏様、元井忠夫様の三人にご執筆頂きました。誠にありがとうございました。これからも健康にご留意され、ますますのご活躍を祈念いたします。

昭和 34 年化学科卒 伏黒光夫様、星野卓史様、本田正弘様

昭和 34 年機械科卒 大淵平祐様、木村誠宏様

昭和 34 年染織科卒 島田興五郎様、元井忠夫様



長工時代の思い出

星野卓史 (34C)

一昨々年の11月に古希を迎え、昨年そのお祝いをして頂き大変有難くお礼申し上げます。

S31年入学当時は、盛田学校長、工業化学課程担任には田中先生、他の教諭には、吉田、黒田、安達、江川などの諸先生方でした。建設的な強い個性に依る授業であったように記憶しております。母校はこのS31年に創立55周年記念式典が挙行された年でもありました。さらに今年H24年は110周年記念式典を迎えます。S34年卒業時、盛田学校長の卒業生に送る言葉として卒業アルバムには、「事は努力だけでは成就せぬ、けれども人間の昂揚はその努力に伴う」と述べられていますが、今でも至言・名言だと思っています。

当時、私は越後川口の相川(現在・長岡市川口相川)から上越線で通学し、卒業と同時に上京して、北区赤羽にある凸版印刷系列の会社に就職しました。高崎線で通勤することになり、昔日の上越線に一生お世話になりながら60才の定年を迎え、今日は家庭菜園と休養の毎日です。

昨年の総会参加者の中で古希を迎えた我々が、その参加分布曲線で見たときに、その頂点に在ること、また科別参加者については化学卒が極めて少なく、時代の流れを感じさせられます。



昔日を顧みて

木村誠宏 (34M)

長工入学時のオリエンテーションの初日、本校は本日より諸君らを「紳士として迎えます」従って長髪・映画館・喫茶店等の出入りは禁止いたしません。と告げられ大いに感激した事を覚えています。同年秋に母校の55周年記念式典が盛大に挙行されました。卒業の年4月に皇太子殿下の御成婚式がありました。

就職先は東京亀戸の160人ほどの鉄工所でプレス機械を製造していました。当時のプレス機械業界は欧米メーカーの模倣の有様でしたが、それでも同等の性能に届かず会社を挙げて必死に取り組んでいたと思います。やがて白物家電・自動車の普及に伴い、お客様側のご要求が高度に具体的に明示され、自社の開発行動と目標が明確になり昭和60年代には新機能を有するオリジナル商品が誕生し、各国への輸出もできるようになりました。ソ連時代の国営企業への大型商談があり、最後の2社に残りテクネゴ・コマネゴが極寒のモスクワで連日行われ、競合者は西独のS社だとばかり思って戦ったのですが終盤に至り、実は国内のK社だったと判り誠に感慨深いものでした。その会社も良い顧客様と後輩たちに恵まれ、現在は海外工場を併せ1500人の規模となり、専業では世界トップクラスに位置しています。

自分としてはまだ仕事を続けており「七十は まだ上り坂 はながすみ」の心境です。最後にご恩を受けた母校の先生方のニックネームを懐かしみたいと思います。

金公・メジロ・天井・マンゾウ・消防自動車・エテ公・ダチ公・イヨマンテ・
ネコ・ヨコ・銅像・テンショウ・フリーハンド・・・・。

敬白



古希過ぎて、思い出

元井忠夫 (34W)

昨年の長工東京支部総会において、同期の方々と古希のお祝いを頂きお礼申し上げます。旧三島郡の田舎で、周りは田んぼとやや小高い山々の部落で育った小生が、長岡工業進学に憧れ、念願の学舎で過ごすことが出来ました頃から、半世紀余りのことを思うと、過ぎ去った時と空間は凄いことと感心しております。

当時の通学交通手段は旧長岡鉄道を利用し、信濃川上の長生橋を渡っての往復が懐かしい思い出のひとつです。母校での思い出は伝統の一つとして、入学後直ちに放課後校庭で応援歌の練習だった。上級生が長い木棒をもつての指導はかなり厳しかった。

現況と致しましては東京支部同窓会を通じての各位から、暖かいご支援及び各同好会などで、ときには反省会を兼ねた会合に参加させていただき感謝の次第です。

只今は近隣の区立小学校で個人校庭解放のボランティア活動を通じて、子供達から元気に笑顔をもらって過ごしております。最後になりますが、東京支部会員の皆様並びに大変ご苦勞されておられます役員の方々に厚くお礼を申し上げます。



同好会活動報告

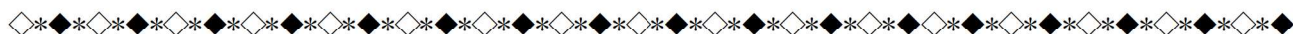
登山同好会

LMC 隊長 樋口 昭 (29E)

リーダー 川澄 昇 (38E)

本部同窓会山の会有志が主催した「長工新道ハイキング」に東京支部山の会（LMC）から8人が参加しました。「長工新道」は昭和32年、当時の先輩諸氏が拓いた登山道で「創立110周年記念のイベント」としての企画で、秋の一日を汗しながら先輩の功績を思い秋の山歩きを楽しみました。下山のあとは山古志の温泉で一泊し同窓の山仲間同士で懇親を深めることが出来ました。

山同行会の活動の概略：6月 木曾駒ヶ岳～宝剣岳（7人参加）、9月 八ヶ岳・横岳～硫黄岳 縦走 2899m（6人参加）のほか恒例の芋煮会・忘年登山 七面山・新春登山を楽しみました。



散歩クラブ

幹事 小島 洋 (37e)

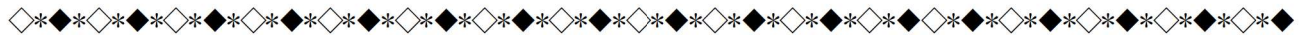
今年の企画は、春に「ゲゲゲ散歩」、秋に「忠臣蔵散歩」の2回を実施しました。

「ゲゲゲ散歩」は一昨年のNHKの朝ドラで人気になった「ゲゲゲの女房」の舞台で、8名の参加者を得て、調布界限から深大寺を散策しました。調布駅近くには布多神社があり参道には鬼太郎に関するモニュメントが沢山あります。昼食に深大寺そばを頂き、深大寺を参拝した後、神代植物園を散策し、桃、桜、辛夷の花に見とれました。



「忠臣蔵散歩」は生憎の雨の中、8名の参加者を得て、浅野匠頭刃傷の松の廊下跡を出発点とし、討ち入りの吉良上野介屋敷跡、泉岳寺までルートで、近くの見所を見学しました。皇居では三の丸尚蔵館で明治時代の室内装飾を見学、吉良邸近くのお蕎麦屋さんで討ち入りそばを頂き、ルート途中の増上寺では、戦後初めての三門ご開帳があり、楼上の釈迦三尊、十六羅漢等を見学しました。

それぞれの散歩の最後は、反省会を行い、楽しい歓談を行いました。



ジョギング同好会

世話役 成田 修 (44M)

ジョギング同好会、秋の大会は今年から昨年まで参加していた横浜マラソン大会に替えて足立区荒川河川敷を走るタートルマラソン大会(本年は10月16日開催)に変更して第一回目の参加をしました。初めての大会でもあり、集合場所や打上げ会の場所には少々苦心しましたが、若干の行き違いはあったものの何とか無事に実施できました。

当日はこの季節にしては異常に暑い天候となり、翌日の新聞で知ったのですが、熱中症でランナーの中で23人が救急車で病院に運ばれたとのニュースが報道されていました。しかしながら、我が長工ジョギング同好会の3名(小嶋氏(37C)加藤氏(40C)、成田(44M)は各自それなりのタイムで完走し、無事ゴール出来ました。それも一重に応援として参加して頂いた並木顧問(28W)、樋口支部長(29E)、元井様(34W)の声援のお蔭と感謝している次第です。



ゴルフ同好会

幹事 山川昭男 (33E)

昨年の東京支部総会でゴルフ同好会の立ち上げが提案され、15名の会員で「ゴルフ同好会」がスタートしました。第1回コンペは2011年10月7日(金)に開催しました。当日は晴天に恵まれ、大宮国際カントリークラブ;ちどり、しらさぎコースに有志8名が遠方の神奈川、千葉県からも馳せ参じました。皆さん初顔合わせなのに長工同窓という連帯感で、和気藹々の中にプレーに集中し、表彰式をかねた懇親会は楽しいムードで盛り上がりました。

会長に皆さんの推薦により田原吉郎さん(20C)の快諾をいただき、翌春5月に千葉県コースで再会を約し散会しました。

成績 優勝;関 武一(37e) NET73.4、準優勝;田原吉郎(20C) NET75.4

次回は同好の方を誘い合い参加者を増やし計画したいと思っておりますので年齢、ハンデを気になさらずご連絡をお待ちしております。



東京支部ホームページ開設しています

広報 HP 担当理事 杉本久栄 (35E)

同会東京支部の皆様、我が会のホームページをご存知ですか? 2007年9月に開設しました。URLは下記の通りです。また、googleまたはyahooで長岡工業高校同窓会東京支部で検索してもヒットしますので、インターネット環境をお持ちの方はぜひご覧ください。

このホームページは会員相互を結ぶものであり、またそう成るように努めています。イベントがあった時や、会員の皆様からの情報があった時には随時更新をしています。総会懇親会のお知らせや、毎年の総会懇親会の模様、同好会の活動状況、会員の皆様、学校長や本部長からの投稿等も掲載されています。



また、会員の皆様が開設しているホームページもリンクしていますので、これもぜひご覧に成って頂きたいと思っています。皆様からの情報があれば即掲載したいと考えていますので、同級会、関東地区での仲間の情報、ご意見等を下記のメールアドレスまでご連絡ください。

ホームページURL ; <http://choko-tokyo.sakura.ne.jp/>

連絡用メールアドレス; kjsugimoto@gmail.com



会員からの特別寄稿

佐藤 武 (S38M)

千葉市在住



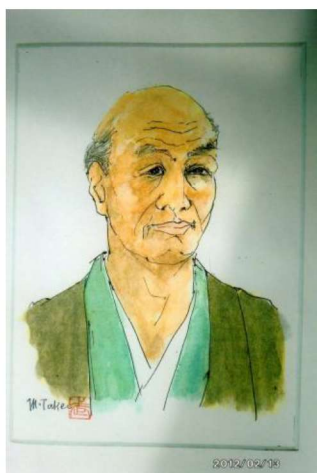
我が本と e・go (絵・碁) 人生

評論家の西部邁は「人間の本質は危機の連続である。屋根伝いに歩いている様なもの」と言っていた。これを聞いて、「我は雪国育ちで、屋根から滑り落ちる前に「なぜよけ」に拵るから大丈夫などと思っていたものです。長工を卒業して造船会社に就職するも工業人として定着し得ず、医書関係の出版社を経て千葉医大前の医書販売店と転職しました。最後は愛読していた三太郎の日記から「己を己ならぬものに儘すこと、それは我の本質を活かすため」に触れて昭和 41 年に千葉県警に奉職し、当番(登板)全力投球の姿勢で勤めあげました。

一方、余暇は、在宅・待機も要求される仕事柄、自宅でやれる本(読書)、人物画、碁にも楽しみながら集中しました。絵は管内居住の洋画家の知己を得て、習作に励み、定年辺りでボールペンスケッチに転じ、様々な顔は異業種交換会の面々に求めました。色紙や厚紙に描いて、モデルも含めて多くの人に見てもらい、手元には作品のコピーを残し小冊に綴じています。この描いた顔を数えてみたら大小あわせて3千余となっていました。数多く描き続けたことが自信にもつながったと思います。最近ではスケッチブックを持って講演会、裁判所にも出かけ「講演スケッチ」「公判スケッチ」などで人物画を楽しんでいます。

本は医書店時代に出版年鑑から読みたい本を選び遼丞文庫として本箱に収めました。本は入れ替わり、整理されて来ておりますが、定年後は講演スケッチなどで面識となった論客の著書の他、「蛍になった特攻兵(宮川三郎物語)」が昨年の東京支部総会で紹介を受けた本として、この生涯読み続けたい本棚の中に収まっています。

戦後教育の中、日本人の多くは正しく歴史認識を持ち得ているのでしょうか。学校で教えなかった沢山のことをこれら書籍の中、そして、我は再び信濃川のほとりに回帰しつつ校歌、長陵賛歌にある精神を矜持して生きていきたいと思っております。



二宮尊徳の銅像から



囲碁会の仲間



演奏会スケッチ

平成 23 年度総会報告(写真集)

平成 23 年 7 月 2 日



受付風景



校歌斉唱



並木支部長挨拶



来賓祝辞(馬場会長)



来賓祝辞(村山学校長)



樋口副支部長挨拶



懇談風景



若波会による佐渡おけさ、相川音頭



ハ一モ二力演奏



喇叭吹奏



演舞

母校創立 110 周年記念行事

本年は母校創立 110 周年で、各種行事が企画されています。既に同窓会本部よりご案内が各位の下に届いていると思います。同窓生をお誘いして母校訪問をしてみたいはいかがでしょうか？ 行事概要を紹介いたします。

- | | |
|---|---|
| <p>① 創立 110 周年記念式典並びに祝賀会
日時 平成 24 年 11 月 3 日(土) 13 時開会
場所 ホテルニューオータニ長岡にて
参加費 7,000 円</p> | <p>③ 歴史遺産(機械類)「母校内展示室」開設
同窓会館内にある機械類を母校生徒さんをはじめ、関係者への教材とするために「動態展示」を開設する。</p> |
| <p>② 創立 110 周年記念ゴルフコンペ
日時 平成 24 年 11 月 4 日(日) 8 時~
場所 長岡カントリー倶楽部〈長岡市深沢町〉
費用 参加費；3,000 円+プレー代；10,000 円</p> | <p>④ 長陵祭の見学
日時 平成 24 年 11 月 4 日(日) 9 時~
場所 母校の校舎内</p> |

寄付のお願い

同窓会本部より記念行事を行うため、寄付のお願いが届いていることと思います。締め切りは既に過ぎておりますが、志のある方は本部宛の送金をお願い致します。



住所不明者の情報収集のお願い



昨年の総会・懇親会に登録会員の皆様にご案内を発送しましたが、下記 2 名の案内状が宛先不明で戻ってきました。皆様の中で心当たりの方がおられましたら、長工同窓会東京支部役員あるいは名簿担当までご連絡ください。

No.	卒業年度	科別	氏名	本部コード	No.	卒業年度	科別	氏名	本部コード
1	昭 28	機械	岸 勝浪	S28M014B	2	昭 32	機械	三木 逞弘	S32M035B

名簿担当：〒261-0026 千葉市美浜区幕張西 3-5-9-204 大関 稔 Tel: 043-272-8897 Email: ozeki@cba.att.ne.jp



- ◆ 母校創立 110 周年おめでとうございます。米百俵以来の教育立県、新潟県の偉業と考えます。卒業生各位はそれぞれの職場で日本の産業を牽引して、世界に確たる日本を築き上げてきました。在学生諸氏の活躍を期待しています。(HK)
- ◆ 支部だよりもめでたく 10 号の発刊にいたりました。支部会員のご協力の賜物です。これからもよろしくお願ひ致します。(HK)

同窓会活性化のため、編集や記事に関する皆さんのコメントをお待ちします。(編集委員)

編集委員コメント宛先 : 小島 洋 (TEL & FAX : 042-648-7250, Eメール: h-kojima@star.ocn.ne.jp)
長谷川 隆 (TEL: 0466-44-7886 , Eメール: ghg00712@nifty.com)